

4b
760
BB11

教育学科
資料室

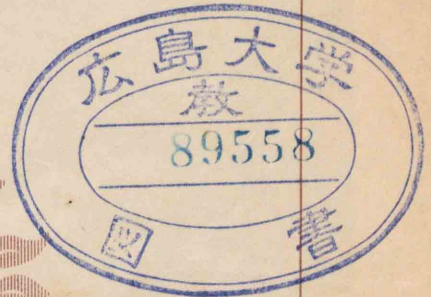
教科書文庫
4
760
52-1934
2000089558

昭和九年三月三十日
文部省檢定済
師範學校・高等女學校音樂科

新女子音樂教科書

若狹萬次郎編

第一編



広島大学図書
2000089558



東京

合資社 共益商社書店發行

春の小川

Andante.



I *mp*
 一. サラサラサラサラ ナガ ル
 二. ちらちらちらちら ちるよ
 三. ヒラヒラヒラヒラ マフヨ



mf
 コウヲモヨロコブ ヲガハ
 きしべにさきたる さくら
 カスメルミソラノ コトリ



II *mp*
 サラサラサラサラ キケヤ
 ちらちらちらちら はなを
 ヒラヒラヒラヒラ カゲヲ



mf
 タヘナルナガレノ シラベ
 うかべてながるる をがは
 ナガルルミノモニ ミセテ

四季の眺

犬童球溪

一 山邊も野邊もかすみわたり

春風軽く袖にかをる

仰ぐ空には雲雀うたひ

笑める花には胡蝶をどる

うるはしうるはし春の眺

うるはしうるはし春の眺

二 青葉を渡る風のひびき

門邊を廻る水の調

自然なる樂を奏で

神の祕事我に語る

うるはしうるはし夏の眺

うるはしうるはし夏の眺

三 草葉の末に宿る露を

眞玉と見する月の光

人の心にかかる雲も

はれよとばかりなれば照るか

うるはしうるはし秋の眺

うるはしうるはし秋の眺

四 一夜のほどに山も丘も

時じく花に埋れはてて

見ゆる限は一つ色の

神のみわざの樂土なれや

うるはしうるはし冬の眺

うるはしうるはし冬の眺

晨の鐘



一. カネノネト ホナリア サギリハレ
 二. かねのねた かなりみ そらははれ



ナガキヨア ケユクイト シヅカニ
 こころはすみーてのぞみにみつ



ア ア ワレタタ ン
 あ あ われゆか ん

晨の鐘

宮田勝三郎

一 鐘の音遠鳴り

朝霧晴れ

長き夜明けゆく

いと静かに

ああ

我立たん

二 鐘の音高鳴り

御空は晴れ

心は澄みて

望に充つ

ああ

我行かん

春の小川

犬童 球 溪

一 さらさらさらさら流る

小魚も喜ぶ小川

さらさらさらさら聞けや

妙なる流の調

二 ちらちらちらちら散るよ

岸邊に咲きたる櫻

ちらちらちらちら花を

浮べて流るる小川

三 ひらひらひらひら舞ふよ

かすめるみ空の小鳥

ひらひらひらひら影を

流るる水の面に見せて

曙

森 迫 武

一 東の窓明けそめて

軒端の雀 庭つ鳥

呼び交ふ聲 いと朗

我も人も起きん

いざ

二 釣瓶のおと 高くなり

隣の翁 はや起きつ

衾を蹴て 我も起き

朝の光浴びん

あ あ あ

送別の歌

Moderato. スコットランド歌謡曲

mf

一ヨノヒトコゾリテキミヲマテリ
 二さすがになごりのをしくあれど

f

トシゴロヲサメシトクニザエト
 わかれにのぞみてなにかいはん

mf

アラクハニシメサントキハイマゾ
 とくもてざえもてさきくつとめ

f

ヲカシクユキマセイナザヤトモヨ
 あかるきわがよとせやともよ

送別の歌 森 迫 武

一世の人ごぞりて 君を待てり
 年來修めし徳と才と 顯に示さん時は今ぞ
 雄々しく行きませ いざや友よ

二流石に名残の 惜しくあれど
 別に臨みて何か言はん 徳もて才もて幸く務め
 明るき我が世と なせや友よ



不 複 轉 許
 寫 載 製 許

昭和八年九月二十三日印
 昭和八年九月二十六日發
 昭和十一年九月廿五日修
 昭和十一年九月廿八日修
 訂 發 行
 行 刷 行 刷

第一編定價金五拾五錢
 第二編定價金五拾五錢
 第三編定價金六拾錢
 第四編定價金六拾錢
 第五編定價金六拾五錢

編著者 若 狹 萬 次 郎

東京市芝區松本町四十四番地

發行兼 代表者 白 井 保 男

印刷所 共益商社書店印刷部

發行所 東京市芝區松本町四十四番地

共益商社書店

會社 共益商社書店

振替 東京一五八〇番
 電話 三田(45) 四四〇五七六番